

令和 3 年度志木市一般会計・特別会計決算の概要

■ 一般会計

<決算規模>

- ・歳入総額 334億9,107万円【前年度：365億4,295万円（8.4%減）】
- ・歳出総額 308億0,975万円【前年度：347億9,872万円（11.5%減）】

<収支状況>

- ・歳入歳出差引額 26億8,132万円【前年度：17億4,424万円】
- ・実質単年度収支額 8億6,729万円【前年度：4億2,971万円】

一般会計決算の特徴

- 歳入は、庁舎建設事業債や臨時財政対策債の増などにより地方債が増となったものの、特別定額給付金給付事業費補助金や新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金などの国庫支出金の減等により、前年度比30億5,188万円の減となっています。
- 歳出は、庁舎建設事業の増などにより総務費が増となったものの、特別定額給付金事業や水道基本料金緊急軽減事業費の減等による民生費の減や、小・中学校体育館空調設備設置工事費の減等により教育費が減となったことなどにより、前年度比39億8,897万円の減となっています。
- 実質単年度収支（財政調整基金の増減を控除した、当該年度の実質的な収支を把握する指標）は、昨年度に引き続き黒字（8億6,729万円）となりました。なお、財政調整基金残高は、前年度から1億6,213万円増の31億6,070万円となっています。
- 財政構造の弾力性を表す経常収支比率は90.8%で、前年度（93.8%）より3ポイントの減となりました。
- 地方自治体の財政状況の健全度を示す健全化判断比率は、全ての指標（実質赤字比率、連結実質赤字比率、実質公債費比率及び将来負担比率）において基準値を大きく下回っており、本市の財政状況が健全であることを示しています。
- 令和3年度末の市債残高は211億7,581万円で、庁舎建設事業債や宗岡小学校体育館大規模改修事業債の増などにより、前年度から33億6,819万円の増となりました。なお、市民1人当たりの市債残高は28万円となっています。

※表示単位未満を四捨五入しています。
（裏面へ続く）

■ 特別会計

(単位：万円)

	歳入総額	歳出総額	歳入歳出差引額
国民健康保険特別会計	717,105	678,359	38,745
志木駅東口地下駐車場事業特別会計	5,180	4,898	282
介護保険特別会計	507,237	494,828	12,409
後期高齢者医療特別会計	101,234	99,843	1,391

※表示単位未満を四捨五入しているため、合計が合わない箇所があります。

■ 企業会計

(単位：万円、税抜)

	収 益	費 用	経常損益	特別損益	純損益
水道事業会計	129,598	115,954	13,626	17	13,643
下水道事業会計	197,474	172,022	25,452	0	25,452

※表示単位未満を四捨五入しているため、合計が合わない箇所があります。

<p>記 者 発 表 資 料 令和4年8月30日 総務部財政課 財政グループ 担当者／主任 間船 巧 電話番号／048-473-1115 志 木 市</p>
--